

平成 30 年度新潟県支部同窓会総会の開催報告

平成 30 年 6 月 30 日(土)、新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟で、新潟県支部同窓会定例総会を開催しました。当日は会員 34 名の出席があり、大学から来賓として、生命・環境科学部微生物学研究室 教授古畑 勝則先生のご臨席をいただきました。

総会は、小野島学会長 (S50 年卒) の挨拶で始まり、会長を議長として議案が審議されました。平成 29 年度事業報告及び収支決算並びに平成 30 年度事業計画(案)及び収支予算(案)は、いずれも原案どおり承認されました。また、役員の変更期にあたりましたが、すべての理事が再任され、役員は前年度と同じ体制となりました。

総会の後、会員レポートとして、新潟県動物愛護センターの齊藤健先生(平成 17 年卒)から「処分数減少に向けて未馴化成猫を馴化する取組み」として、報告がありました。処分数を減らすために、困難とされてきた人に馴れていない成猫を馴化する取組みを進めていることを報告されました。

次に、古畑先生から「大学の現状と研究の紹介」と題して講演がありました。紫泉寮の名残は今桜の木しかなく、大学と淵野辺の街の変化を多くの写真で説明いただきました。先生の研究の紹介では、「レジオネラを知る!」とのテーマで、先生のライフワークとしているレジオネラ症に関するものでした。レジオネラ症は、レジオネラ肺炎とポンティアック熱の二つの病型があり、空調用の冷却塔や入浴施設、加湿器などが主な感染源となることを説明されました。

懇親会は、早福昌司先生(S34 卒)の乾杯で始まり、酔いが回れば「寮歌」、「記念祭の歌」そして、毎年恒例の早福先生の「数え歌」です。

今回は、平成 29 年度から新潟県支部で始めた新潟県出身の卒業生にお祝いを贈る事業で、お祝いを贈った卒業生 7 人のうちの 1 人の古谷さんが参加され、若い古谷さんを囲んでたいへん盛り上がりました。畜産関係の仕事を希望しているとのことで、先輩方と交流を深めていました。大学では県人会はすでに開催されておらず、古谷さんは同期で 7 人も新潟出身者がいたことを初めて知ったとのことでした。県人会の復活が、同窓会支部の活性化につながるのではないかと思います。

事務局 田村 務 (S58 卒)

